

■モロッコ他：サハラ砂漠太陽熱プロジェクト、覚書調印

欧州企業等 12 社は 2009 年 7 月 13 日、欧州への電力供給のため、アフリカから中東にかけて大規模太陽熱発電所を建設する覚書に調印した。覚書の内容は今後 3 年間で Desertec と呼ばれる太陽熱プロジェクトの詳細計画を策定するため、今年 10 月 31 日までにプロジェクトの推進母体をドイツに設立するというものである。覚書に調印した企業は、ドイツ銀行、E.ON、HSH Nordbank、MAN Solar Millennium、ミュンヘン再保険、M+W Zander、RWE、SCHOTT Solar、SIEMENS（以上ドイツ）、ABB（スイス）、Abengoa Solar（スペイン）および Cevital（アルジェリア）の 12 社である。また、ドイツ外務省、アラブ連盟、エジプトエネルギー省および国際的シンクタンクのローマクラブから代表者が調印式に参加した。Desertec はモロッコからサウジアラビアにかけて太陽熱発電所を建設し、海底ケーブルによって欧州に送電するプロジェクトである。なお、発電所の建設地、運開時期、発電容量など詳細については、現段階では決まっていない。